日本野鳥の会神奈川支部
高麗山定例探鳥会

あおばと 緑鳩

出会いにドキドキしたい
会報 226 号
2005 年 12 月

第 227 回 定例探鳥会

日 時 ： 2005 年 11 月 13 日 (日)　　天候 ： 晴れ
コース ： 高来神社 ⇒ 高麗山 ⇒ 八俵山 ⇒ 浅間山 (一等三角点)

先月とはうって変わって早朝からよい天気です。少し冷え込んだのでしょうか、集合場所まで30分以上かけて自転車で走ってくると、会報を配る手もかじかんでいました。本格的な秋の到来を感じます。平塚・大磯の各地から冬鳥の飛来情報がどんどん届いています。吉沢・鷹取山ではいつもの冬鳥たちが勢ぞろいしたようですが、高麗山ではどうでしょうか？期待が高まります。木々の葉が落ち始め大分見通しがよくなってきたのですが、肝心の鳥たちは静かです。冬鳥が到着したとはいってもまだ数が少ないのか、アオジの声もまばらでした。たくさんの木の実が道の両側に見られ、鳥の食事が話題になっていました(中には味見をする人も…)。浅間山に着いたころには暖かくなり、気持ちのよい汗をかきました。

11月は宿場まつり、大磯文化祭、市民探鳥会とこまたんの行事が重なり、大変忙しい中にも楽しい日が続きました。まだちょっと気が早いですが、来年は照ヶ崎がアオバト飛来地として天然記念物に指定されてから10年になります。記念展示会など、またまた楽しい計画が持ち上がっています。

本年は大勢の皆様に参加していただきありがとうございました。来年もよろしくお願いいたします。

参 加 者　　参加人数 33 名 (敬称略)

1. 上野 尚博	2. 朝倉 輝美	3. 福田 適	4. 山路 智恵子	5. 小池 英光
6. 川内 淳	7. 川内 マサ子	8. 瀬尾 隆	9. 山田 文則	10. 下倉 紘一
11. 冨田 和之	12. 三上 平三郎	13. 吉田 宣子	14. 古尾谷 七郎	15. 片倉 暹
16. 八木 正	17. 大谷 多鶴子	18. 大谷 秋代	19. 小野 肇	20. 室野 義晴
21. 細谷 季代子	22. 磯上 恵介	23. 松下 弓子	24. 別所 三郎	25. 山本 暁
26. 清水 哲子	27. 紺 龍彦	28. 沢田 興三	29. 南 那津子	30. (田端 裕)
31. (内山 規矩雄)	32. (金子 典芳)	33. (岩佐 昌夫)		

見聞きした鳥　　種類数 18 種 (sp を含む)

1. トビ	2. オオタカ	3. キジバト	4. ドバト	5. コゲラ
6. ヒヨドリ	7. モズ	8. ジョウビタキ	9. ウグイス	10. シジュウカラ
11. ヤマガラ	12. メジロ	13. ホオジロ	14. アオジ	15. スズメ
16. ハシボソガラス	17. ハシブトガラス	18. ガビチョウ		

参考 (八俵山から花水川を見たときに発見)： カワウ、アオサギ、コサギ、コガモ、マガモ、オオバン

ワイルドバード・カレンダー 2006　好評発売中！

1部　1000円

数に限りがあります。購入希望の方は探鳥会リーダーまで

**(1月オオワシ、2月シメ、3月シジュウカラ、4月モズ、5月イカル、6月ゴイサギ
7 月カワセミ、8 月ミサゴ、9 月ハマシギ、10 月ヤマガラ、11 月クロジ、12 月コハクチョウ)**

★大磯町文化祭レポート

11月19日（土）・20日（日）の二日間、大磯の滄浪閣で恒例の「大磯町文化祭」が行われました。こまたんもアオバトの展示で参加しました。展示場所は例年と同じく2階の階段のすぐ左側、いつもの通り星の会と部屋を半分ずつに分けて使いました。部屋の入口には「日本一のアオバト飛来地」の幟が立ち、階段を上ってくる人の目を引いていました。

今回のメインテーマは『アオバトの一年』です。「おこまはん」がまとめた冬の京都と夏の照ヶ崎でのアオバトの一年間の暮らしを紹介しました。アオバトの認知度はずいぶん高くなったようで、アオバトを知らないという人はほとんどいなかったようです。”冬の京都”という魅力的な言葉に引かれて、展示をじっくりと眺めたり説明を熱心に聞いてくれる方が多かったです。

吉沢や鷹取山で拾い集めたドングリと落ち葉をアオバトのカービングの周りに配したドングリ採餌の様子を再現したディスプレーは、特に小さな子供たちに人気がありました。大きさや形の異なるいろいろな種類のドングリがあることにビックリしていました。

石原君が見つけ出してしてくれた照ヶ崎の古い写真も見学者の興味をひいていました。写真を見ながら昔の様子をいろいろと聞くことができ、明治35年（1902）には岩場があったことがハッキリしました。自分で調査した資料を朝早くから持ってきて見せてくださった方もいらっしゃり、こちらも大感激でした。関東大震災の後に岩場が隆起したといわれていたのですが、それ以前はどのような状況だったのかという疑問の一部が分かってきました。

文化祭や宿場まつりを通して大磯町の人たちに、アオバトの情報を流し続けてきた効果が少しずつ現れてきているようです。

もう一つの展示は「篆刻」です。篆書体で”大磯緑鳩”の文字やいろいろな姿のアオバトを、中国産の石に彫って和紙に転写したものを額に入れて展示しました。小学生の女の子が気に入ってお小遣いのすべてを出して額を買っていき、翌日にはそれを見たその子のお母さんがやはり気に入って2点も買ってくれました。これを見ていた我々も感動し、篆刻の作者も大変喜んでいました。

今年も大成功のアオバトの展示でした。会場で自分が一番に楽しみながら案内や説明をしてきた自称”アオバト伝道師”たちの気持ちが参加者に伝わり、「アオバトの環」がどんどん広がっていくのを感じました。

★鷹取山・吉沢 自然観察会レポート

11月23日（水）に第51回市民探鳥会『鷹取山・吉沢自然観察会』が行われました。平塚駅集合は6人、去年と同じように一つ先の停留所まで行くミカン狩りの団体と一緒になってしまい、超満員のバスに立ちんぼでした。二宮駅集合の人たちも一緒になり、東の池に集まったのは26人でした。勤労感謝の日の各地のいろいろな行事と重なってしまい、前回と比べて参加者数は半分以下になってしまいましたが、ゆっくり観察するにはちょうどよい人数かもしれません。

時間前に東の池に来ていた人たちはミサゴ、ツミ、オオタカ、ノスリの4種のタカを見ることができたそうです。後から到着した人もハイタカ、オオタカ、チョウゲンボウを見ることができました。渡ってきたばかりの冬鳥たちに会えるのを期待して出発しました。林の木々は色づき始めたり、葉を落とし始めていて、明るく感じます。ヒタキ類の「ヒッ、ヒッ、ヒッ、ヒッ」という声が聞こえてきました。チラッと見えた姿や声の特徴からルリビタキ、ジョウビタキ、キビタキが確認できました。ルリビタキは木の上の方でさえずっているところを一部の人が見つけることができました。見つかる鳥の姿や声も少なく林の中は静かでしたが、冬鳥はマガモ（ゴルフ場の池）、ルリビタキ、ジョウビタキ、アオジ、シメを観察しました。

快晴で風もなく、暖かな天候のもと、鳥の気配は少なくても、秋の草花や木の実を観察し、紅葉を見ながら歩けば、とても気持ちがよくなりました。

【見聞きした鳥】 33種

ミサゴ、トビ、ツミ、ハイタカ、オオタカ、ノスリ、チョウゲンボウ、マガモ、コジュケイ、キジバト、ドバト、カワセミ、コゲラ、キセキレイ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ルリビタキ、ジョウビタキ、ウグイス、キビタキ、エナガ、シジュウカラ、ヤマガラ、メジロ、ホオジロ、アオジ、カワラヒワ、シメ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ガビチョウ

【お知らせ】

○ 定例カウント調査

吉沢 & 土屋　　2006年1月7日（第1土曜日）
鷹取山　　2006年1月14日（第2土曜日）

午前7時に高麗ハイツとなりの駐車場（青空市場）に集合、車で移動します。または7時15分までに、第1土曜日は松岩寺駐車場、第2土曜日は東の池に直接来られても結構です。参加の連絡は不要ですが、いずれも時間が来れば出発してしまいますので、時間厳守でお願いします。午前中に解散。雨天中止。

問い合わせ・連絡先

岩佐 昌夫 0463-55-6142　内山 規矩雄 0463-33-4322　金子 典芳 0463-32-5583

鳥 報

こまたんメンバーのフィールドでの観察記録から主なものをご紹介します。

花水川・平塚大橋付近のサギねぐら調査

観察日	天気	アオサギ	ダイサギ	チュウサギ	コサギ	ゴイサギ	サギ合計	ムクドリ
11/1	○	4	1	0	19	0	24	約 3,000
11/4	○	6	0	0	31	0	37	約 7,000
11/8	○	3	0	0	15	0	18	約 4,000
11/10	○	1	2	0	41	0	44	?
11/24	○	2	1	0	30	0	33	約 3,000
11/25	○	4	0	0	10	0	14	約 1,000
11/29	○	2	0	0	27	0	29	約 2,000
12/2	◎	2	0	0	5	0	7	約 4,000

アオバト情報

照ヶ崎への飛来状況

11/6 ◎ 6:00～9:00 飛来回数 9 回、飛来総数 82 羽、瞬間最大飛来数 22 羽

今年の終認はいつだったのでしょうか？現在情報を収集中です。11/6 以降の記録をお持ちの方はご連絡をお願いします。

その他の場所でのアオバトの記録

10/22 **段戸裏谷原生林（愛知県北設楽郡設楽町）、27 羽の群れが稜線の枯れ木にとまっていた**

10/26 **堀之内貝塚公園（千葉県市川市堀之内）、声を聞いた**

11/27 **高麗山・女坂、まだ新しい初列風切羽が 1 枚落ちていた**

その他の野鳥情報

アオジ ： 11/1 横浜市青葉区。その後各地で多数が観察されている

シメ ： 11/8 吉沢（松岩寺）、1 羽、初認。12/3 同じ場所で 28 羽が木にとまっていた

シロハラ ： 11/8 吉沢（日ノ宮山からゴルフ場への林道）、2 羽

ホオアカ ： 11/9 花水川、1 羽

ツグミ ： 11/11 横浜市青葉区。11/22 町田市、吉沢。吉沢・鷹取山でも記録されている

ユリカモメ ： 11/17 渋田川（立掘親水公園付近）、11 羽。11/23 花水川（東雲橋付近）、9 羽

ルリビタキ ： 11/22 吉沢（日ノ宮山付近）、声、吉沢・鷹取山での初認

タゲリ ： 11/26 伊勢原市下平間の畑地、1 羽。11/30 平塚市北金目 16 羽

カシラダカ ： 12/3 土屋（谷戸）、10 羽以上を確認、初認

花水川・渋田川では、コガモ、マガモ、ヒドリガモ、バン、オオバンが見られています。

次回の定例探鳥会は 2006 年 1 月 8 日（日）です。午前 7 時 30 分 高来神社に集合。

緑鳩(アオバト) 第 226 号／12 月号 発行所：こまたん

斎藤 常實 0467-51-3543
岩佐 昌夫 0463-55-6142

こまたんホームページアドレス http://www.komatan.jp/

日本野鳥の会神奈川支部ホームページ http://www.mmjp.or.jp/wbsj-k/